

宝塚市
夢・未来 たからづか
創生総合戦略（案）

1. 基本的な考え方	1
(1) 計画の位置づけ	1
(2) 計画期間	1
(3) 進行管理	1
(4) 取組における視点	1
2. 目指すべき将来の方向	3
3. 基本目標	5
4. 施策体系	7
5. 基本目標に基づく施策	8
基本目標 1 子どもと子育てにやさしい「まち」	8
基本目標 2 地域資源を生かした活力ある「まち」	13
基本目標 3 健康で安心して暮らせる、住みやすい「まち」	18

1. 基本的な考え方

(1) 計画の位置づけ

宝塚市夢・未来 たからづか創生総合戦略（以下、「総合戦略」という）は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び兵庫県の「兵庫県地域創生戦略」を勘案するとともに、宝塚市人口ビジョンを踏まえ、本市の地方創生に向けた基本目標、取り組むべき施策を取りまとめたものです。

また、宝塚市では、平成32年度（2020年度）を目標年次とする「第5次宝塚市総合計画」において、「市民の力が輝く 共生のまち 宝塚～住み続けたい、関わり続けたい、訪れてみたいまちをめざして～」を将来像として掲げ、まちづくりに取り組んでいます。この総合戦略では、第5次総合計画の基本構想の実現に向けた施策を基に、今後5年間の基本目標の達成に向けた主要事業を示しています。

(2) 計画期間

総合戦略の計画期間は、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）までとします。

(3) 進行管理

総合戦略に掲げる取組を客観的に検証するため、基本目標に数値目標を設定するとともに、具体的な施策については、重要業績評価指標（KPI※）を設定し、施策の実施状況の検証、改善を図り、次の取組につなげるPDCAサイクルにより、進行管理を行います。

また、総合戦略の推進にあたっては、市長を本部長とする「宝塚市夢・未来 たからづか創生本部」や外部有識者などで構成する組織により、取組状況の検証を行い、必要に応じて、総合戦略を見直します。

※KPI：Key Performance Indicator の略。

(4) 取組における視点

総合戦略に掲げる取組の実施にあたっては、次の3つの視点を持って取組を展開します。

★様々な分野における協働の推進

「協働」がまちづくりの基本であるとの認識のもと、様々な分野において、市民※と行政の協働により事業を推進します。

★市民との対話や交流の推進

市民との情報共有を図り、市政に関する市民の理解を深めることによって、参画

と協働が進むよう、市民と行政の対話や交流を推進します。

★まちの魅力の発信

多くの人に本市の魅力を知ってもらい、まちへの関心を持ってもらうよう、まちの魅力を高めるとともに、魅力の発信を推進します。

※市民とは、個人としての市民、自治会、まちづくり協議会、地域団体、市民活動団体、中間支援団体、事業者を表します。

2. 目指すべき将来の方向

本市は、宝塚歌劇、神社仏閣、宝塚らしい景観、良好な住環境、北部の豊かな自然など、多彩な魅力に溢れたまちであり、これらの魅力が本市の都市イメージや価値を高めていることから、これらの魅力を未来の「宝塚」へと繋げていくことが重要です。

このため、これらの魅力を最大限に生かすとともに、各施策においてさらに魅力を高め、市内外に向けて情報発信をすることにより、「住んでみたい」、「訪れてみたい」、「住み続けたい」と思う人を増やし、「選ばれるまち」、「活力あるまち」をめざします。

この実現に向け、次の3つの基本的な考え方を掲げます。

まちの魅力にひかれて ～住みたくなる～

六甲・長尾山系や武庫川の美しい景観や良好な住環境、北部の豊かな自然、大阪近郊都市としての利便性などの魅力により、本市での居住に関心を持つ人、特に結婚、出産、子育て世代の人に、本市を居住地として選んでもらえるよう、情報を発信することが重要です。

また、まちの人口を維持するためには、次代を担う子どもの数が増えることが理想です。そのためには、子どもを安心して産み、育てることができる子育てや子どもの成長を地域とともに支える仕組みなどが重要です。

こうした考え方のもと、本市の住環境などの魅力を生かすとともに、子育て支援や教育環境の充実により、まちの魅力をさらに高め、「住みたくなるまち」をめざします。

まちの魅力を知って ～訪れたくなる～

本市には、宝塚歌劇や神社仏閣などの観光資源があり、毎年多くの観光客が訪れています。まちの賑わいや活気を創造し、まちの活力を高めるとともに、まちの魅力も高めることから、多くの観光客が訪れることが重要です。

こうした考え方のもと、本市に関心を持つ人がまちをもっと知りたくなり、訪れたいくなるよう、地域資源を掘り起し、多様なメディアを活用して情報を発信することで、まちの魅力を知って「訪れたいくなる」まちをめざします。

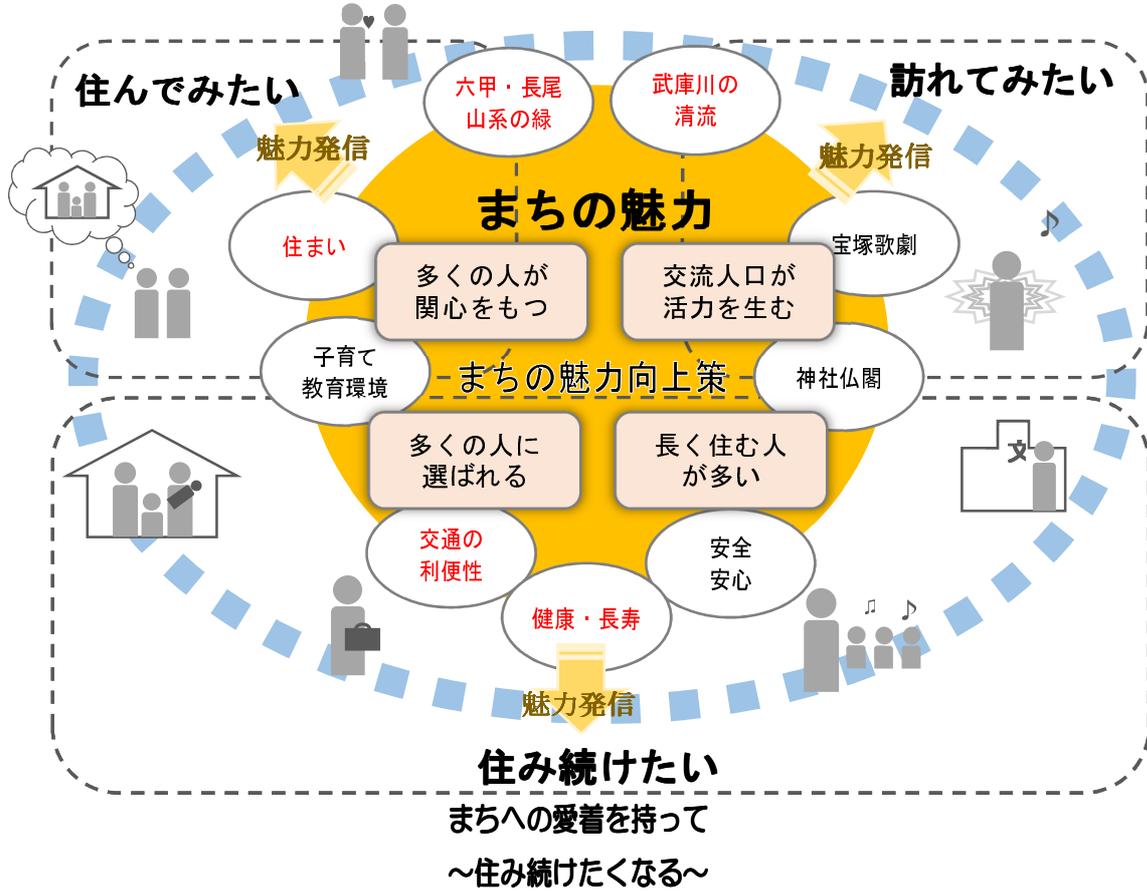
まちへの愛着を持って ～住み続けたくなる～

平成27年8月に実施した市民に対する居住意向調査の結果、多くの市民が「宝塚市に住み続けたい」と回答しています。その主な理由としては、「住環境がよいから」、「交通の利便性がよいから」、「治安がよいから」が挙げられます。これらのまちの魅力をさらに高め、住み続けたいと思う人を増やすことが重要です。

こうした考え方のもと、すべての人が、健康で安心して暮らし、まちへの愛着を持って「住み続けたいくなる」まちをめざします。

まちの魅力にひかれて～住みたくなる～

まちの魅力を知って～訪れたいくなる～



3. 基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」、「兵庫県地域創生戦略」及び「宝塚市人口ビジョン」を踏まえ、まちの将来方向を実現するため、今後 5 年間でめざすべき 3 つの基本目標を次のとおり掲げます。

基本目標 1 子どもと子育てにやさしい「まち」

- *子どもが地域のなかで愛されて健やかに成長していることが、まちの魅力となるとともに、大人になっても住み続けたい、将来戻ってきたいと思われるまちになると言えます。
- *このため、子どもを安心して産み、育てることができるよう、地域と行政が一体となり、子育て支援の充実、子育てと仕事の両立できる環境の整備、子どもの「生きる力」を育む魅力ある教育環境づくりを進めることで、子どもと子育てにやさしいまちをめざします。

指標	数値目標・目標年度 (H31)
年少人口の数	32,363 人 (H27 年 6 月) ⇒ 32,363 人 (H31 年度) H26 度実績を維持
市民アンケートで「宝塚市は子育てがしやすい環境である」と思う市民の割合	48.5% (H26 年度) ⇒ (H31 年度) H26 度実績から上昇

基本目標 2 地域資源を生かした活力ある「まち」

- *宝塚歌劇や神社仏閣などの文化・歴史資源は、外部から人を呼び込み、宝塚市を特徴づけるとともに、まちの誇りとなっています。
- *本市の豊かな資源を生かし、まちの個性と魅力を高めるとともに、産業の活性化による雇用機会の創出や就労支援に取り組み、活力あるまちをめざします。
- *市民が心豊かな生活を送るために、文化芸術やスポーツは欠かせないものと言えます。生涯を通じてだれもが文化芸術やスポーツとふれあい、楽しむことのできるまちをめざします。

指標	数値目標・目標年度 (H31)
観光入込客数	8,572,816 人 (H26 年度) ⇒ 9,172,913 人 (H31 年度) H26 度実績の 7% 増
市内民営事業者の従業員数 (経済センサス)	51,077 人 (H24 年) ⇒ 52,000 人 (H31 年) 現状維持

基本目標3 健康で安心して暮らせる、住みやすい「まち」

*子どもや高齢者をはじめすべての市民が、地域のなかで健康で安心して暮らすことができるとともに、道路、交通などの環境が整備された快適なまちは、住んでいる人の定住や住みたいと思う人の転入に繋がると言えます。

*このため、ハード、ソフト両面において環境を整備し、すべての人が、健康で安心して暮らせる住みやすいまちをめざします。

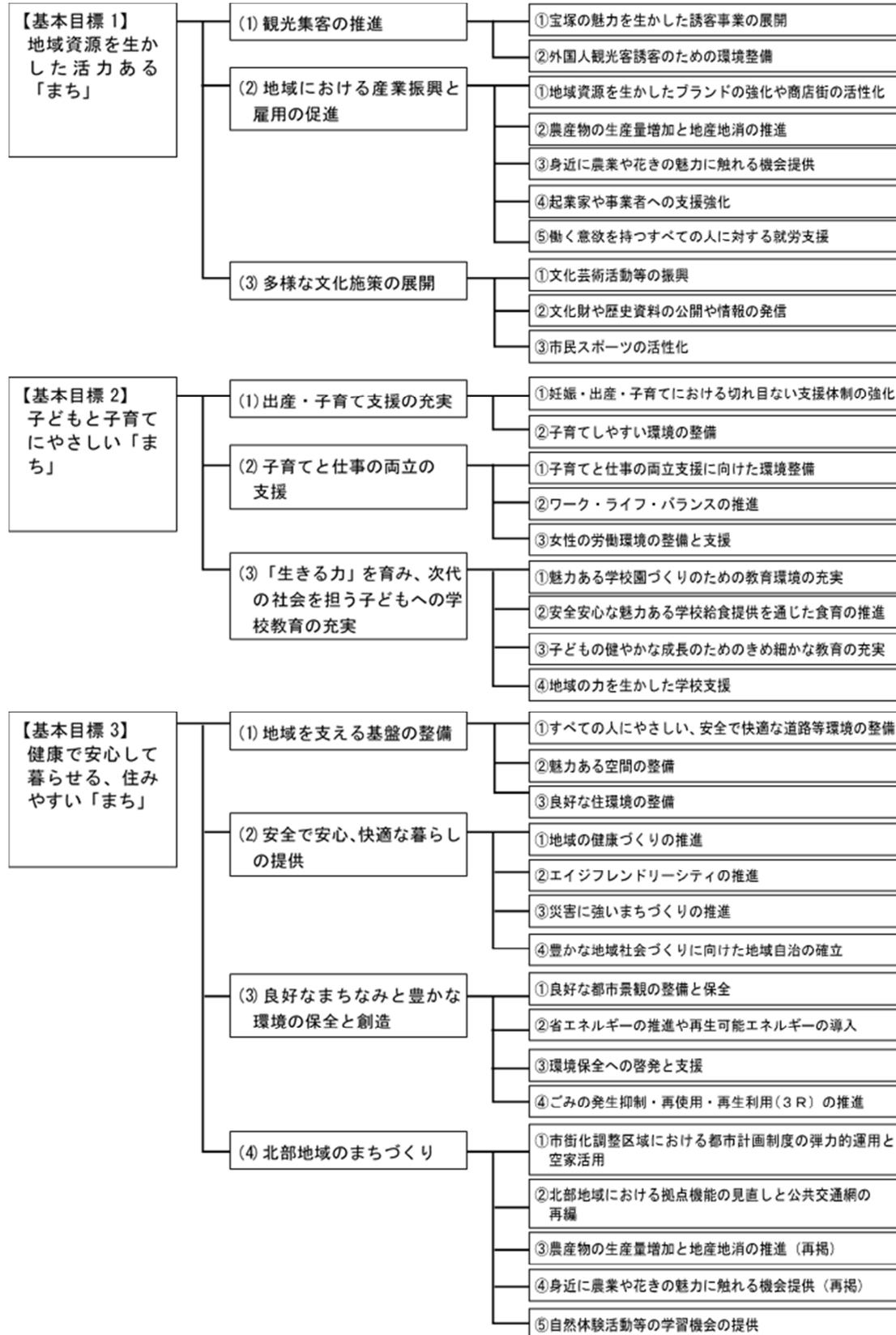
*また、北部地域は、里山と農地が保全されている自然豊かな地域ですが、人口減少と高齢化の進行により生活環境への影響が懸念されることから、交流促進と定住促進により元気なまちをめざします。

指標	数値目標・目標年度 (H31)
市民アンケートの「宝塚市内に住み続けたい」市民の割合	79.8% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
社会増減における転入超過数	-305人 (H26年度) ⇒ (H31年度) プラスを維持

※「事情が許せば住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計

4. 施策体系

3つの基本目標に対する基本的方向と具体的施策は以下のとおりです。



5. 基本目標に基づく施策

基本目標 1 子どもと子育てにやさしい「まち」

基本的方向

基本的方向 (1) 出産・子育て支援の充実

子どもと子育てにやさしいまちをめざして、子育て世代が抱く将来不安を緩和し、子どもを安心して産み育てられるように、保健、医療、福祉、教育などの各分野で連携した施策を実施するとともに、地域と行政が一体となって支援する環境を整えます。

基本的方向 (2) 子育てと仕事の両立の支援

男性の家事・育児参加、女性の労働環境の整備・充実に支援し、男女共同参画社会の実現をめざします。また就学前の保育・教育及び放課後児童健全育成事業の充実により、子育て世代を支援します。

基本的方向 (3) 「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実

家庭や地域と連携し、子どもの育ちを支援し、時代に応じた魅力ある教育環境づくりを推進します。また地域と行政が一体となって子どもを守り育てる環境を整備します。

具体的な施策

基本的方向 (1) 出産・子育て支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 1-(1)-① 妊娠・出産・子育てにおける切れ目ない支援体制の強化

◇妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対し、関係機関と連携し、総合的な相談・支援を行います。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
乳幼児健診の受診率	4 か月児 : 97.4% 10 か月児 : 94.4% 1 歳 6 か月児 : 95.2% ⇒ 各 100% 3 歳児 : 94.7% (H31 年度) (H26 年度)
阪神北広域子ども急病センターの診療利用者数	7,199 人 ⇒ 7,199 人 (H31 年度) (H26 年度) H26 度から現状維持
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 乳幼児等・こども医療費助成事業 * 母子保健健康診査事業 * 母子保健相談指導事業 * 母子保健訪問指導事業 * 救急医療対策事業 * 児童虐待防止施策推進事業 * 産後・育児支援ヘルパー派遣事業 * 子育て家庭ショートステイ事業 * 在宅児支援事業 * あそびっこ広場運営事業 * 障害児相談支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 乳幼児等・こども医療費助成制度の充実 * 母子健康づくりの支援 * 阪神北広域子ども急病センターにおける夜間・休日小児科診療と電話相談の実施 * 児童虐待防止施策の充実 * ひとり親家庭等への支援の充実 * 障がいや発達に遅れのある子どもと家庭への支援の充実

施策 1-(1)-② 子育てしやすい環境の整備

◇公共施設や公共交通機関のバリアフリー化、赤ちゃんの駅の充実など、保護者が乳幼児と外出しやすい環境の整備に取り組むとともに、子どもの成長過程別の各種講座や様々なセミナーの実施、地域での子育て支援の拠点である児童館・子ども館の事業等の充実に地域と連携して取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
児童館延べ利用者数 (出前児童館含む)	200,736 人 ⇒ 210,000 人 (H31 年度) (H26 年度) H26 度実績の+5%
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 児童館運営事業 * 子ども家庭支援センター事業 * 家庭教育推進事業 * ファミリーサポートセンター事業 * 子どもの人権擁護事業 * 子ども議会・子ども委員会事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 公共施設、公共交通機関のバリアフリー化 * 道路の段差解消、幅員確保等の推進 * 赤ちゃんの駅の充実 * 三層構造による子育て支援システムの強化 * 子どもの権利全体にかかる救済・立ち直りのための支援の充実 * 子ども参加型のまちづくりの推進

基本的方向 (2) 子育てと仕事の両立の支援・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 1-(2)-① 子育てと仕事の両立支援に向けた環境整備

◇保育所と放課後児童健全育成事業における待機児童を解消することで、児童の保護者が、子育てと仕事を両立できる環境整備に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
認可保育所待機児童数	7人 (H27年度) ⇒ 0人 (H31年度)
放課後児童健全育成事業の待機児童数	116人 (H27年度) ⇒ 0人 (H31年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 市立保育所保育実施事業 * 私立保育所保育実施事業 * 認定こども園施設整備事業 * 小規模保育所整備事業 * 地域児童育成会事業 * 民間放課後児童クラブ運営支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 多様な保育サービスの充実 * 放課後児童クラブの充実

施策 1-(2)-② ワーク・ライフ・バランスの推進

◇男女問わず仕事と生活のバランスが調和するワーク・ライフ・バランスの実現に向け、市民及び事業者を対象とする講演会の実施等、啓発に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
講演会等の定員充足率	100% (H26年度) ⇒ 100% (H31年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 男女共同参画センター管理運営事業 * 男女共同参画施策推進事業 * 労働行政事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 男女共同参画センターにおける講演会、セミナーの開催 * 男女共同参画プラン推進フォーラム、広報たからづかへの啓発記事の掲載

施策 1-(2)-③ 女性の労働環境の整備と支援

◇ライフステージに応じて女性が働きやすい労働環境の確保に向け、女性の就業に関する情報の提供や事業者への各種セミナーの開催など、雇用する側への啓発に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
セミナー等の定員充足率	100% (H26年度) ⇒ 100% (H31年度) 現状維持
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 男女共同参画センター管理運営事業 * 男女共同参画施策推進事業 * 労働行政事業 (再掲) * 就労支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 男女共同参画センターにおける講演会、セミナーの開催 * 男女共同参画プラン推進フォーラム、広報たからづかへの啓発記事の掲載

基本的方向 (3) 「生きる力」を育み、次代の社会を担う子どもへの学校教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 1-(3)-① 魅力ある学校園づくりのための教育環境の充実

- ◇保・幼・小・中が連携した地域ぐるみの活力ある教育活動をめざします。
- ◇幼児期においては、（仮称）幼児教育センターの設置による幼児期教育の充実のほか、何事にも主体的に取り組む子どもを育てることを宝塚市の幼稚園教育の特色とし、教育環境の充実とPRに取り組みます。
- ◇小中学校における ICT を活用したわかりやすい授業を実施するなど魅力ある教育活動を展開します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
幼児教育センターでの研修における私立保育所・幼稚園からの参加者数	H28 年度開設予定 ⇒ (H31 年度) 開設年度実績の 50%増
授業が楽しく、よくわかるようになった児童生徒の割合	70% (H27 年度調査の目標) ⇒ 80% (H31 年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 幼稚園施設整備事業 * 幼稚園運営事業 * 保幼小中連携教育推進事業 * ICT 活用推進委託事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 園舎・園庭の環境整備 * 小中学校における ICT を活用したわかりやすい授業 * 西谷地域での自然体験、環境学習の推進

※（仮称）幼児教育センター：就学前教育に関する教職員の研修事業や研究推進等を統括する部署。公私立保育所（園）と公私立幼稚園の横の連携や、小学校への円滑な接続にむけて縦の連携を図る。

施策 1-(3)-② 安全安心な魅力ある学校給食を通じた食育の推進

- ◇学校給食において、米飯と和食を中心とした献立の更なる充実を図ることで、市県内産の食材を活用した地産地消に寄与するとともに、食育を推進し、子どもたちの食への関心を高めます。また、安全で、安心な給食を提供します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
地産地消の割合（品目数）	9% (H26 年度) ⇒ 39% (H31 年度) H26 年度実績の 30%増
米飯給食回数	週 3 回 (H26 年度) ⇒ 週 5 回 (H31 年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 米飯自校炊飯実施事業 * おいしい学校給食事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 地産地消や米飯給食の推進 * 各校に炊飯設備やその他の多様な調理設備の整備

施策 1-(3)-③ 子どもの健やかな成長のためのきめ細かな教育の充実

- ◇近年深刻化する子どもを取り巻く問題を未然に防止、解決する支援体制の充実や、子どもの居場所づくりを進めます。
- ◇特別な支援が必要な子どもが、安心してのびのびと学習できるよう、環境整備を進めます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
不登校生徒の割合 (宝塚市内中学校生徒総数に対する不登校生徒数)	2.85% (H26 年度) ⇒ 2.00% (H31 年度) H26 度実績の 30%減
主な事業	内容
<ul style="list-style-type: none"> * 教育相談事業 * 子ども支援事業 * 特別支援教育推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 子どもの居場所づくりの整備 * 特別支援教育の充実のための人的支援及び施設整備

施策 1-(3)-④ 地域の力を生かした学校支援

- ◇地域の力を学校教育に活用するとともに学校・地域・家庭が一体となった教育活動を推進します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
学校支援ボランティア活動回数	5,757 回 (H26 年度) ⇒ 6,000 回 (H31 年度) H26 度実績の 5%増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * TAKARA っ子いきいきスクール推進事業 * 学校支援地域本部事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 学校・地域・家庭が一体となった教育活動の推進 * 地域の教育力を生かし、学校を支援するボランティア活動

基本目標2 地域資源を生かした活力ある「まち」

基本的方向

基本的方向（1） 観光集客の推進

市全域にわたり点在する魅力ある地域資源を生かし、まちの賑わいや観光消費の拡大など地域活性化につながる観光振興を推進します。

また、国内外から更に人を呼び込むため、情報発信力の強化と受入環境の整備を進めます。

基本的方向（2） 地域における産業振興と雇用の促進

地場農商工業の活性化を図るとともに、起業家、やる気のある事業者に対する支援を拡充します。また、地域における雇用機会の確保や創出につながる施策と就労支援策の拡充により雇用の促進を図ります。

基本的方向（3） 多様な文化施策の展開

豊かな感性と創造性を育み、多様な交流の促進を図るために、市の歴史学習、スポーツ、文化芸術活動などを推進します。

具体的な施策

基本的方向（1） 観光集客の推進・・・・・・・・・・・・・・・・

施策2-(1)-① 宝塚の魅力を生かした誘客事業の展開

◇本市への誘客数及び訪問者の市内での滞在時間の増加を図るため、地域資源の掘り起し、磨き上げを進めるとともに、資源を活用した新たな観光コースの設定やイベント企画、また、多様な媒体を活用した情報発信に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度（H31）
観光入込客数	8,572,816人（H26年度） ⇒ 9,172,913人（H31年度） H26年度実績の7%増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 観光振興・宣伝事業 * 宝塚魅力体験事業 * 歌劇100年魅力発信事業 * 温泉施設等管理事業 * 観光施設維持管理事業 * 宝塚花火大会事業 * 手塚治虫記念館管理運営事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域資源の掘り起し、磨き上げ * 新たな観光コース、イベントの設定 * ホームページの見直し * まちかど観光情報ステーションの増設 * 手塚治虫記念館の改修・充実

施策 2-(1)-② 外国人観光客誘客のための環境整備

◇外国人観光客数の拡大を図るため、情報発信力を強化するとともに、ボランティアガイドの育成、パンフレットの多言語対応などを図ります。また、外国人の観光をサポートする環境整備を進めます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
外国人観光客	13,591人 (H26年度) ⇒ 15,493人 (H31年度) H26度実績の14%増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 観光振興・宣伝事業 * 海外誘客事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 情報発信力の強化 * 多言語対応の観光案内の充実 * ボランティアガイドの育成 * 公衆無線LANの整備 * 観光情報を入手できるアプリの整備

基本的方向 (2) 地域における産業振興と雇用の促進・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 2-(2)-① 地域資源を生かしたブランドの強化や商店街の活性化

◇地域資源を生かし、魅力的で信頼性の高いブランドの強化を支援するとともに、市内外への情報を発信します。また、空店舗対策など商店街の魅力向上に向けた取組を支援します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
市内の主な市場、商業施設における空き店舗割合	20.5% (H26年度) ⇒ 17.5% (H31年度) H26度実績の3%減
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 商工振興事業 * 宝塚ブランド発信事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 宝塚ブランド「モノ・コト・宝塚」の資源の発掘や情報発信の強化 * 空き店舗対策など商店街の魅力向上に向けた取組実施

施策 2-(2)-② 農産物の生産量増加と地産地消の推進

◇担い手や新規就農者への支援拡充、集落営農など農作物を安定供給できる生産体制づくりを支援します。また地域性を生かした特色ある農作物づくりや販路拡大への支援、地産地消の拡大などに取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
認定農業者数	21人 (H26年度) ⇒ 25人 (H31年度)
新規就農者数	1人 (H26年度) ⇒ (H31年度) H26各年度2人増
玉瀬地区ほ場整備の進捗率	52.5% (H26年度) ⇒ 完了 (H29年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * ほ場整備事業 * 自然休養村運営事業 * 農業振興事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 農業の担い手や新規就農者への支援 * 地元農産物の学校給食への供給や地元での販路拡大支援、収穫体験ツアーなど地産地消の拡大

施策 2-(2)-③ 身近に農業や花きの魅力に触れる機会提供

◇西谷の農作物やダリア、牡丹、山本の植木など地域資源の充実と施設間の連携や参加型、体験型農業の拡充により地域の魅力向上を図ります。

◇特産品や加工品の開発等に向けた取組の支援による地域農作物のブランド力の向上を図るとともに、新名神高速道路 SA での販売、PRによる魅力発信に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
農業振興施設の来場者	60,438人 (H26年度) ⇒ 64,000人 (H31年度)
市民農園利用者数	490人 (H26年度) ⇒ 580人 (H31年度)
ダリア園入園者数	2,313人 (H26年度) ⇒ 5,300人 (H31年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 商工振興事業 (再掲) * 農業振興事業 (再掲) * 市民農園事業 * 園芸振興事業 * 長谷牡丹園管理運営事業 * 農業振興施設管理事業 * 農業・園芸体験交流促進事業 * 西谷交流事業 * ダリアで彩る花のまちづくり事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 園芸関連施設や農業振興施設等の充実と各施設の連携強化、魅力向上 * 市民農園や収穫体験など参加型・体験型農業の推進 * 特産品や加工品の開発に向けた取組や販路拡大、設備投資への支援 * 新名神高速道路 SA における農作物、加工品の販売及びスマート IC 利用促進 * ダリア、牡丹などの花きの普及促進

施策 2-(2)-④ 起業家や事業者への支援強化

- ◇地域の活性化や市内における雇用促進に向け、起業や事業拡張をめざす事業者に対する支援制度の充実や情報発信など、事業者支援を強化します。
- ◇地域の課題を解決するソーシャルビジネスや高齢者の生きがいビジネスなど、身近なビジネスの立ち上げへの支援を、NPO 団体と協働して行います。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
起業相談・指導を受けた人のうち起業した事業者数	19 人 (H26 年度) ⇒ 24 人 (H31 年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 新事業創出総合支援事業 * 企業活動支援事業 * 中小企業振興資金融資斡旋事業 * 商工振興事業 (再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> * 起業や事業拡張への支援制度の充実や情報提供 * ソーシャルビジネスや高齢者の生きがいビジネスなどの立ち上げ支援

施策 2-(2)-⑤ 働く意欲を持つすべての人に対する就労支援

- ◇働く意欲を持つすべての人が就労することができるよう、国、県及び関連機関と連携し、相談事業の拡充など、就労支援に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
ワークサポート宝塚の就職件数	1,200 件 (H26 年度) ⇒ 1,330 件 (H31 年度)
障害者就業・生活支援センターの支援による就職人数	28 人 (H26 年度) ⇒ 33 人 (H31 年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 労働行政事業 (再掲) * 就労支援事業 (再掲) * ワークサポート宝塚運営事業 * 障害者就労支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 国、県及び関連機関と連携した女性、若者、高齢者などの相談事業の拡充や就労支援 * 障がいのある人や生活支援者に対する就労・定着支援の推進 * 発達障がいのある人への特性に応じた就労支援の推進

基本的方向 (3) 多様な文化施策の展開・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 2-(3)-① 文化芸術活動等の振興

- ◇上質で多様な文化芸術の鑑賞の場や機会の充実などにより、市民をはじめ多くの人々が文化芸術に触れることができるよう、施設の整備充実や情報発信の拡充など環境整備を進めます。また、文化芸術活動などを通じた市民主体の都市間交流や国際交流を促進します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
文化施設の利用率	71% (H26年度) ⇒ 73% (H31年度) H26度実績の2%増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 文化振興事業 * 文化施設管理運営事業 * 小浜工房館管理運営事業 * 宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）管理運営事業 * 国際交流事業 * 国際・文化センター管理運営事業 * 宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用検討事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 文化芸術の拠点整備 * 文化芸術に関する情報発信 * 市民主体の都市間交流、国際交流の促進

施策 2-(3)-② 文化財や歴史資料の公開や情報の発信

◇本市の郷土資料や文化財を積極的に公開するとともに、これらの資料のデジタル化やホームページでの紹介など、ICT社会に対応した情報発信を推進します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
本市の郷土資料や文化財にかかる資料展示開催回数（企画展）	9回 (H26年度) ⇒ 12回 (H31年度) H26度実績の40%増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 文化財保護事業 * 市史編集事業 * 歴史民俗資料館管理事業 * 桜が丘資料室維持管理事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 郷土資料や文化財の積極的な公開 * ICTの活用による情報発信

施策 2-(3)-③ 市民スポーツの活性化

◇市民スポーツの活性化に向け、宝塚市大使、スポーツ公社、体育協会、スポーツクラブ 21等の協力を得て、市民が楽しめる新たなスポーツイベント等を実施します。

◇市民が地域において生涯スポーツを楽しむことができるよう、「スポーツ推進委員」の増員を進めるとともに、「スポーツクラブ 21」の情報発信、活動の活性化、クラブ会員の増員をめざします。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
スポーツクラブ 21の会員数	5,347人 (H26年度) ⇒ 6,680人 (H31年度) H26度実績の25%増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 社会体育振興事業 * 地域スポーツ稼働支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 新たなスポーツイベントの実施 * 「スポーツクラブ 21」に関する活動促進

基本目標3 健康で安心して暮らせる、住みやすい「まち」

基本的方向

基本的方向（1） 地域を支える基盤の整備

多様な都市機能を集約したコンパクトシティの形成を見据え、社会インフラ（道路、交通、公園など）の充実や良質な住宅ストックの活用を図り、安心して快適なまちづくりを推進します。

基本的方向（2） 安全で安心、快適な暮らしの提供

市民の生命、財産を守るための地域の防災力の向上、防犯意識の啓発を推進します。また豊かな生活を支え、災害に強く安全で安心な施設整備を推進します。

住み慣れた地域で、地域と連携しながら市民一人ひとりが健康で元気に安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。

基本的方向（3） 良好なまちなみと豊かな環境の保全

「宝塚らしい景観」の維持・形成につながる環境づくりに取り組みます。また、地球温暖化対策として、環境に対する意識向上とそれに基づくライフスタイルの実践として、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入を図り、持続可能なまちづくりを推進します。

また、市街地、市街地近郊での環境の保全と創造に取り組み、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、ごみの減量・資源化を推進します。

基本的方向（4） 北部地域のまちづくり

都市近郊でありながら中山間地域の様相の北部地域が抱える諸課題を解決するための総合的施策を展開します。また、2017年の新名神高速道路の開通を契機に、地域資源を活かして広域に情報や人の交流を促し、地域の活性化を図ります。

具体的な施策

基本的方向 (1) 地域を支える基盤の整備・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 3-(1)-① すべての人にやさしい、安全で快適な道路等環境の整備

- ◇高齢者、障がい者などの交通弱者や通学児童が安全で円滑に歩行できるよう整備プログラムを策定し、歩道のバリアフリー化や通学路の安全対策を推進するとともに、適正な管理による安全で快適な道路環境を保全します。
- ◇市民の快適な交通環境を確保するため、道路網の総合的な整備プログラムを策定し、主要道路の計画的な整備や開発等に併せた生活道路等の整備を行います。またバス路線網の拡充、駅舎やバス車両のバリアフリー化など利便性の向上のため公共交通の充実を図ります。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
都市計画道路整備率	77.0% (H26年度) ⇒ 82.0% (H31年度) H26度実績の5%増
歩道改良バリアフリーの延長整備率	20.0% (H26年度) ⇒ 50.0% (H31年度) H26度実績の30%増
市内バス等公共交通の利用者数 市民アンケート (公共交通等の満足度)	(H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
長寿命化計画に基づく橋りょうの修繕箇所数	1橋 (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績の60橋増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 都市計画道路・幹線市道連携計画策定事業 * バス交通対策事業 * 地域公共交通導入支援事業 * ノンステップバス購入助成事業 * 駅舎バリアフリー化事業 * 生活道路整備事業 * 道路交通安全施設整備事業 * 道路バリアフリー化整備事業 * 都市計画道路等整備事業 * 一般市道新設改良事業 * 道路維持事業 * 橋りょう長寿命化事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 計画道路・生活道路等の整備 * 歩道のバリアフリー化 * 通学路の安全対策の推進 * バス路線等公共交通の拡充 * 駅舎・バス車両のバリアフリー化

施策 3-(1)-② 魅力ある空間の整備

◇公園の主な利用者である地域の子どもや高齢者等の意見を取り入れ、子どもたちが安心して遊ぶことができるとともに、利用者にとって魅力的な公園整備を進めます。

◇多くの人が憩い、交流できる空間を整備します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
遊具の更新箇所数	10箇所 (H26年度) ⇒ 35箇所 (H31年度) H26度から毎年5箇所増
市民一人当たりの公園面積	3.9㎡/人 (H26年度) ⇒ 5.1㎡/人 (H31年度) H26度実績の1.2㎡増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 公園整備事業 * きずきの森整備事業 * 宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用検討事業 * 花屋敷グラウンド周辺整備事業 * N T N 株式会社宝塚製作所跡地利活用検討事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域の意見を取り入れた公園整備 * 宝塚ガーデンフィールズ跡地における文化芸術の拠点及び庭園の整備 * 市役所周辺における市民の憩いと交流の空間整備

施策 3-(1)-③ 良好な住環境の整備

◇新たな宝塚市転入者を積極的に呼び込むため、各種住宅購入に係る支援を行うほか、転入者が住みつけたい居住場所となるよう、ライフスタイルに応じた住宅改修やリノベーションが進められる支援を行うとともに、空き家情報を公開し利活用を推進します。

◇犯罪抑止効果のある防犯カメラの設置、特定空き家の対策等、良好な住環境整備を進めます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
長期優良住宅 (認定件数)	350件 (H26年度) ⇒ 350件 (H31年度)
住宅流通 (支援件数)	0件 (H26年度) ⇒ 100件 (H31年度)
住宅改修、リノベーション (支援件数)	0件 (H26年度) ⇒ 10件 (H31年度)
空き家利活用実績	0件 (H26年度) ⇒ 3件 (H31年度)
犯罪発生件数	1,758件 (H26年度) ⇒ 1,670件 (H31年度) H26度実績の5%減
空き家対策件数	19件 (H26年度) ⇒ 9件 (H31年度) H26度実績の10件減
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * (仮称) 安全・安心カメラ整備事業 * 空き家 (廃屋) 対策事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 長期優良住宅の認定 * 若年世帯への住宅購入支援 * 親との近居・同居のための住宅購入支援 * 住宅改修やリノベーションに関する助成制度の斡旋 * 各種住宅支援体制の確立 * 空き家 (廃屋) の解消 * 防犯カメラの設置

基本的方向 (2) 安全で安心、快適な暮らしの提供・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 3-(2)-① 地域の健康づくりの推進

◇市民が地域のなかで健康に暮らすことができるよう、各種健康診査の受診促進を図るとともに生活習慣病の重症化予防のための保健事業を充実するほか、市民が健康づくりに積極的に取り組むことができる地域の健康づくり活動や介護予防活動を支援します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
国民健康保険特定健康診査受診率	38.5% (H26年度) ⇒ 60% (H31年度)
市民アンケートの「意識的に健康づくりに取り組んでいる」市民の割合	54.0% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * がん等検診事業 * 後期高齢者健診事業 * 健康教育・健康相談事業 * 介護予防普及啓発事業 * 保健事業 (国民健康保険) * 特定健康診査等事業 (国民健康保険) 	<ul style="list-style-type: none"> * 特定健診やがん検診の受診促進 * 保健事業の充実 * 地域の健康づくり活動の支援 * 介護予防活動の支援

施策 3-(2)-② エイジフレンドリーシティの推進

◇住み慣れたまちで生涯を過ごすことができるよう、これまでの市の取組を高齢者目線で見直すとともに、高齢者による多様な社会参加を促すため、「エイジフレンドリーシティ行動計画」を策定し、取組を推進します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
市民アンケートの「宝塚市内に住み続けたい」市民の割合	79.8% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * エイジフレンドリーシティ推進事業 (仮称) 	<ul style="list-style-type: none"> * 高齢者にやさしいまちづくりの推進

施策 3-(2)-③ 災害に強いまちづくりの推進

◇平時より防火、防災、救命に対し、市民に自助共助の意識高揚を図るとともに、公助の責務として危機管理施設や市民救護体制の充実など、緊急時に即時対応のできる環境整備を進めます。また、浸水被害の解消のため施設の整備を行います。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
自主防災組織活動率	100% (H26 年度) ⇒ 100% (H31 年度)
消防サポート隊の発隊	なし (H26 年度) ⇒ 創設 (H31 年度)
市内全 24 時間コンビニエンスストア（現在 52 店舗）に A E D を設置	10 店舗 (H26 年度) ⇒ 52 店舗 (H31 年度) 全店設置
雨水施設整備延長比率	79% (H26 年度) ⇒ 82.0% (H31 年度)
護岸改修延長	500m (H26 年度) ⇒ 750m (H31 年度) H26 度実績の 250m 増
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 危機管理施設事業 * 防災情報伝達事業 * 24h まちかど AED ステーション事業 * 消防救急事業 * 消防サポート隊発隊事業 * 公共下水道（雨水）整備事業 * 普通河川治水事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 被害や影響を最小限に抑えるための危機管理施設と情報伝達施設の整備 * 24 時間コンビニエンスストアへの A E D（自動体外式除細動器）設置促進及び市民救護体制の充実 * 市民による消防支援体制の確立 * 浸水区域における雨水排水施設の整備 * 緊急度に応じた護岸改修の推進

施策 3-(2)-④ 豊かな地域社会づくりに向けた地域自治の確立

◇市民主体の豊かな地域社会づくりに向けて、まちづくり協議会と自治会の連携を促進するとともに、地域自治に関わる様々な主体が地域のまちづくりについて協議する仕組みを構築します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
議決機関のあるまちづくり協議会数	9 団体 (H27 年度) ⇒ 20 団体 (H31 年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * コミュニティ活動支援事業 * 自治会活動支援事業 * 市民活動促進支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> * まちづくり協議会と自治会の連携の促進 * 地域の様々な主体がまちづくりについて協議する仕組みの構築 * 中間支援団体、事業者、事業者団体などの連携による市民活動の支援及び育成

基本的方向 (3) 良好なまちなみと豊かな環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 3-(3)-① 良好な都市景観の整備と保全

◇都市景観の維持・形成に当たっては、市、市民及び事業者が連携し、協働で進めます。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
市民アンケートの「都市景観」に関する現在の満足度	30.3% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 都市景観保全・創出事業 * 屋外広告物事務推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 景観計画特定地区の導入の推進 * 景観法に基づく景観重要建造物の指定 * 違反広告物の簡易除却及び是正指導の推進

施策 3-(3)-② 省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの導入

◇安全で安心、持続可能なまちづくりの推進に向け、節電の必要性や効果を市民と共有するとともに、公共施設における省エネ化や再生可能エネルギーの利用を先導的に進めます。

◇民間施設の省エネ化支援、再生可能エネルギー導入を推進します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
太陽光発電設置施設数	1箇所 (H26年度) ⇒ 3箇所 (H31年度)
温室効果ガス排出量削減(1990年度比で2020年度に22%削減)	667,000t-Co2 (H2年度) ⇒ 525,152t-Co2 (H31年度)
再生可能エネルギー自給率及び活用率の増加促進	自給率 1.2% (H26年度) ⇒ 自給率 8.9% (H31年度) 活用率 10.4% (H26年度) ⇒ 活用率 20.9% (H31年度)
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 環境推進事業 * 二酸化炭素排出抑制対策事業 * 再生可能エネルギー導入推進事業 * 再生可能エネルギー基金活用事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 公共施設の省エネ化 (BEMSや省エネ機器の導入) * 水道施設における太陽光発電や小水力発電などの活用

施策 3-(3)-③ 環境保全への啓発と支援

◇市民、事業者へ環境保全の意識啓発等を行うとともに、環境保全に関する活動団体の取組を支援します。

K P I	数値目標・目標年度 (H31)
豊かな自然環境が保全されていると思う市民の割合	55.2% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
自然環境保全の活動に参加している市民の割合	6.9% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
主な事業	主な内容
<ul style="list-style-type: none"> * 環境推進事業 * 生物多様性戦略推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> * 環境団体との協働により、環境活動の実践にむけた環境学習・教育活動の推進 * 環境活動に取り組む人・団体との情報交換や交流・連帯の場の提供

施策 3-(3)-④ ごみの発生抑制・再使用・再生利用(3R)の推進

◇ごみの発生抑制・再使用・再生利用(3R)を、市民・事業者・行政の連携により進めます。

K P I	数値目標・目標年度(H31)
ごみ焼却処理量	55,052 t (H26年度) ⇒ 51,219 t (H31年度)
主な事業	主な内容
* ごみ減量化・資源化推進事業 * 新ごみ処理施設整備調査研究事業	* ごみの発生抑制・再使用・再利用の推進

基本的方向(4) 北部地域のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・

施策 3-(4)-① 市街化調整区域における都市計画制度の弾力的運用と空家活用

◇北部地域における居住者の増加をめざし、地域の魅力を形成する自然環境を保全する里山保全活動の継続や遊休農地の有効活用を進めるとともに、転入者の居住場所を確保しUIターンを促進するため、空き家の活用や都市計画制度の弾力的運用に取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度(H31)
北部地域の世帯数	1,132世帯 (H26年度) ⇒ 1,132世帯 (H31年度) H26度実績を維持
空き家利活用実績	0件 (H26年度) ⇒ 3件 (H31年度)
主な事業	主な内容
* 北部地域まちづくり基本計画策定事業	* 空き家の活用 * 市街化調整区域における都市計画制度の弾力的運用の推進

施策 3-(4)-② 北部地域における拠点機能の見直しと公共交通網の再編

◇北部地域の活性化に向け、市民活動や行政活動の拠点機能を見直し、効果的・効率的なサービスを展開します。併せて、地域住民の利便性向上のために交通結節点機能の向上や周辺集落との公共交通ネットワークを再編します。

K P I	数値目標・目標年度(H31)
市民アンケート(公共交通等の満足度)	(H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
改良計画区間(3,510m)の整備延長	1,010m (H26年度) ⇒ 2,310m (H31年度)
主な事業	主な内容
* 北部地域内バス路線補助事業 * 一般市道新設改良事業(北部地域)	* 公共的活動の拠点施設の見直しと効果的・効率的なサービスの展開 * 交通結節点機能の向上 * 公共交通ネットワークの再編

施策 3-(4)-③ 農産物の生産量増加と地産地消の推進（施策 2-(2)-②再掲）

◇担い手や新規就農者への支援拡充、集落営農など農作物を安定供給できる生産体制づくりを支援します。また地域性を生かした特色ある農作物づくりや販路拡大への支援、地産地消の拡大などに取り組みます。

施策 3-(4)-④ 身近に農業や花きの魅力に触れる機会提供（施策 2-(2)-③再掲）

- ◇西谷の農作物やダリア、牡丹、山本の植木など地域資源の充実と施設間の連携や参加型、体験型農業の拡充により地域の魅力向上を図ります。
- ◇特産品や加工品の開発等に向けた取組の支援による地域農作物のブランド力の向上を図るとともに、新名神高速道路 SA での販売、PRにより魅力を発信します。

施策 3-(4)-⑤ 自然体験活動等の学習機会の提供

◇西谷の豊かな自然の中で、自然体験活動・環境学習活動を通して、自然に親しむ心を育むべく自然・環境学習機会の充実や野外レクリエーションに取り組みます。

K P I	数値目標・目標年度（H31）
自然体験活動事業の参加者（自然の家主催事業参加者数）	1,253 人（H26 年度） ⇒ 2,500 人（H31 年度） H26 度実績の 100% 増
主な事業	主な内容
* 宝塚自然の家利活用推進事業 * 宝塚自然の家管理運営事業	* 宝塚自然の家における整備 * 宝塚自然の家での自然体験、環境学習の推進